



Monthly YSFH News (Electronic version)

発行:横浜市立横浜サイエンスフロンティア高等学校 TEL:045-511-3654 FAX:045-511-3644
HP:<http://www.city.yokohama.lg.jp/kyoiku/sidou2/koukou/sfh/>

桜のつぼみもふくらみ始め、本格的な春の訪れを感じさせる頃となりました。皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

3月2日、晴れわたる空の下、希望と自信をもって本校で3年間を過ごした第2期生が巣立ちの時を迎えました。卒業証書授与式では、科学技術顧問の皆様方や教育関係者のご臨席を賜り、盛大に式を挙行することができました。ここに厚く御礼を申し上げます。卒業生は、皆様の期待に応え、世界に羽ばたいていくことと思います。これからも、引き続きご支援いただけると幸いです。

3月5日には、第5期生の入学選抜も終わり、3月5日には晴れて合格した238名の生徒が入学手続きに訪れました。これからのYSFHを担う生徒たちにも期待が膨らみます。

【サイエンスリテラシーI：知っているようで知らなかったガラスの話】（1月28日）



サイエンスリテラシーI「知っているようで知らなかったガラスの話」についてご紹介します。旭硝子株式会社の皆様にご来校いただき、講義をしていただきました。まずは「旭硝子株式会社の概要」、「高機能ガラス」などをご説明いただき、ガラス製造過程を動画で見せていただきました。その後、実際にガラスに触ることで【普通ガラス・複層ガラス・エコガラスの断熱性能の比較】を行い、さらに「ガラスを割ってみよう」と題して【4種類の硝子の割れ方比較】をする機会があるなど、非常に充実した内容となりました。

【第58回青少年読書感想文全国コンクール】（1月29日）

「第58回青少年読書感想文全国コンクール（地方審査会）」（主催：横浜市学校図書館協議会）において本校生徒が**毎日新聞社支局長賞**（1名：課題図書）、**優良賞**（3名：課題図書及び自由図書）、**佳作**（2名：課題図書及び自由図書）を受賞し、横浜市開港記念会館で行われた横浜地区表彰式に参加しました。今後は上位作品3編が都道府県代表作品として中央審査会に送付・審査が行われます。なお、毎日新聞社支局長賞を受賞した生徒は本校「サイエンスリテラシーII分野別発表会」においても優秀者に選ばれており、幅広く活躍してくれています。



【後期和田サロン最終回】（1月31日）



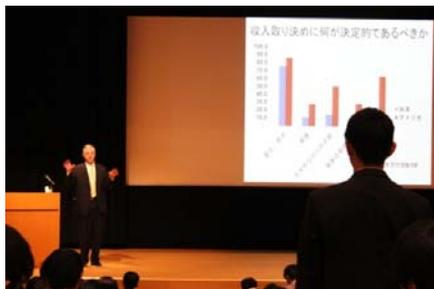
今年度最後の和田サロン、「DVDで訪ねる“智の世界”」が行われました。本校を応援してくださっている皆様からいただいたDVD全3種類、「自己構築するナノマシン」、「太陽のなぞに迫る」、「生命とは何か?」を鑑賞し、まさに【智の世界】を満喫することが出来ました。来年度4月からは新入生を対象に始まります。

【ジョイデス・レゾリューション号によるスカイプ授業】（2月2日）

「海洋掘削船ジョイデス・レゾリューション号」（以下、ジョイデス号）とスカイプ中継を利用したライブ授業を行いました。ジョイデス号は当時、南米コスタリカ沖東太平洋において海洋下部地殻の形成過程を解明するために掘削を行っていました。貴重な機会を有意義なものにするため、事前学習として「ヘス・ディーブ航海」についての説明の動画を見て事前学習し、全員が英語で質問する練習をして本番に臨みました。日本国内の高校で通訳なく直接英語でスカイプ授業を行うのは初めてのことです。最後に感謝の気持ちを込めて寄せ書きを送りました。この色紙はジョイデス号に飾られる予定です。



【サタデーサイエンス：価値観と報酬-野球・経営・教育の日米比較-】（2月9日）



ジェームズ・C・バクスター氏（アメリカ・カナダ大学連合日本研究センター所長）にご来校いただき、講義をしていただきました。テーマは「価値観と報酬-野球・経営・教育の日米比較-」で、「格差社会」（ジニ係数 等）の話から始まり、「日米の企業経営者・プロ野球選手・教育関係者の報酬比較」、さらに「それぞれの社会が抱える価値観の比較」に話が展開しました。生徒からは「格差是正を求めたウォールストリートでのデモに対する、アメリカ国内の反応は？」や「日本のプロ野球選手会による団体交渉・ストライキがアメリカと比較して遅いのは、知識不足のためか？日本人が持つ価値観によるものか？」など活発な質問が行われました。

【横浜市旭区役所との連携事業：天文教室】（2月9日）

横浜市旭区役所との連携事業「天文教室」が本校を会場として行われました。

これは、科学の楽しさを通じて子どもたちの夢や未来への希望を育む、旭区独自の取組「青少年未来発見事業」の一環です。当日は本校科学技術顧問である遠山御幸先生（横浜モバイルプラネタリウム代表）による「プラネタリウム教室」をはじめ、本校天体観測ドームを利用した「天体観測」、さらには「横浜サイエンスフロンティア高校校内見学」が行われました。「天体観測」では天文部生徒、「横浜サイエンスフロンティア高校校内見学」ではサイエンス事務局生徒が活躍し、「科学のおもしろさ」を伝えてくれました。



【サイエンスリテラシー：SLIテーマ別オリエンテーション】（2月13日）



次年度から始まるサイエンスリテラシーIIにおける「分野」と「テーマ」を決めるため、各分野に関する説明を受けるもので、全て本校教諭が担当します。分野は「生命科学分野」、「環境・化学分野」、「ナノテク材料・物理分野」、「情報通信・数理分野」、「地球科学分野」の5つで、テーマは、例えば「生命科学分野」であれば【微生物の培養技術の習得と育種】、「情報通信・数理分野」であれば【LEGOを用いたロボットの制御】など多岐にわたります。4月から研究を始め、9月には分野別発表会および優秀者決定、そして10月にはマレーシア海外研修旅行で全生徒が英語で発表を行います。

【サイエンスリテラシー：おいしさとうま味】（2月22日）

サイエンスリテラシーI「おいしさとうま味」についてご紹介します。

味の素株式会社の鬼頭守和様（研究開発企画部/広報部）にご来校いただき、講義をしていただきました。「うま味の発見とうま味調味料の生産方法、事業化」（味の素株式会社の歴史）、「食品中のグルタミン酸抽出実験」、「味の素株式会社の様々な活動」など非常に充実した内容となりました。

また、この回をもって平成24年度サイエンスリテラシーIの全日程が終了となりました。多くの研究機関・大学・企業の方々にご来校いただいたこと、心から御礼申し上げます。



【青少年サイエンスセンター事業：天文教室】（2月24日）



本校天文部生徒が中心となり、「プラネタリウム上映」、「星座早見盤の作成指導」、「宇宙の起源についてのプレゼンテーション」、「天体観測指導」などを行いました。「プラネタリウム上映」では冬の横浜で観測できる星座について、ギリシャ神話を交え分かりやすく説明する工夫があり、また、保護者の皆様を対象に急遽「校内見学ツアー」を行うなど柔軟な運営を行いました。本番の天体観測では、天候にも恵まれ、代表的な星座「オリオン座」などを観測することが出来ました。教職員のアドバイスはあるものの、ほぼ生徒たちが相談しながら運営を進める様子は非常に頼もしいものでした。

●3月、4月の予定●

3月2日：第2回卒業証書授与式

4月8日：第5期生入学式

3月12日：第5期生 入学説明会

4月12日：第1回和田サロン

3月26日-28日：ブリティッシュヒルズ語学研修

4月23日-24日：1年次宿泊研修

3月29日-4月5日：バンクーバー姉妹校交流プログラム